19インチTFT液晶ディスプレイ

LCD-AD19H

取扱説明書

103663-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。

安全上のご注意

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意表示

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止してください。

万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。

分解禁止

修理・改造・分解はしないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社サポートセンターにご依頼ください。分解・改造した場合は保証期間であっても有償修理となる場合があります。

禁止

通気孔をふさがないでください。

通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。

禁止

装置内部へ異物をいれないでください。

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。

感電注意

ケースカバーは取り外さないでください。

ケースカバーを取り外さないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一触ると危険です。

水濡れ
禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

電源コードについて

電源コードの取り扱いは以下のことにご注意ください。

- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。

- 電源コードをACコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災・感電・故障の原因となります。

- 電源コードのプラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。

- 電源コードがACコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのプラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。接触不良で火災の原因となります。

ACアダプタについて

AC アダプタの取り扱いは以下のことにご注意ください。

- ACアダプタを使用する際は、必ず添付のACアダプタもしくは指定のACアダプタを使用してください。

- ACアダプタの上にものをのせたり、かぶせたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ACアダプタを保温・保湿性の高いもの（ジュータン・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発砲スチロールなど）の上ではご使用にならないでください。

- ACアダプタはAC100V以外の電圧で使用しないでください。
  本機に添付のACアダプタは、AC100V専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

接続ケーブルの扱いにはご注意ください。

接続ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、接続ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない

電源プラグの抜き差しについて。

- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張ると一部が断線し、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

電源プラグなどの接触不良について。

電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。接触不良で火災の原因になります。

落下などによる衝撃について。

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。また、表示面のガラスや内部の FL 管が破損したり、故障の原因となります。

使用する電源について。

付属の AC アダプタを使用してください。付属の AC アダプタ以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

禁止

本製品(ソフトウェアも含む)は日本国内仕様です。

国外では使用しないでください。国外で使用した場合、弊社は一切責任を負いかねます。

禁止

本製品は下記のような場所で使用しないでください。

故障の原因になります。

- 水分や湿気の多い場所
- ほこりの多い場所
- 振動や衝撃の加わる場所
- 通気孔がふさがる場所
- 温度差の激しい場所
- 不安定な場所

厳守

温度差のある場所への移動について。

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用する場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。

厳守

アルミ電解コンデンサーについて。

装置内部の表示制御基板などに使用されている電解コンデンサーは、寿命部品です。寿命期間（約５年）以上使用される場合には、表示制御基板を交換してください。電解液の漏れや枯渇により、火災や感電の原因になります。また、装置の故障の原因にもなります。

⚠ 注意

金属など端面への接触について。

パソコンの移動などで金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

接続ケーブルについて。

- 接続ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。
- 接続ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。

眼精疲労について。

ディスプレイを見る作業を続けるときは、作業場を 300～1000 ルクスの明るさにしてください。また、連続作業をするときは、 1 時間に 10 分から 15 分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

電波障害について。

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

液晶パネルの表示面から、漏れた液体（液晶）には触れないでください。

誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で 5 分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液晶が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めるおそれがあります。

お取り扱い

画面の焼き付きを防ぐために

同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。焼き付きを防ぐために次のことを行ってください。

- パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切ってください。
- なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能をご使用ください。

ディスプレイの設置場所

- 風通しの良い所へ設置してください。
  内部の温度上昇を防ぐため、通気孔をふさがないでください。
- 高温にならない場所へ設置してください。
  直射日光のあたる場所、ストーブのような熱器具の近くに置くと、故障の原因になります。
- 屋内に設置してください。
  屋外で使用できる構造にはなっていないので、故障の原因になります。
- 腐食性ガスの発生しない場所、振動のない場所に設置してください。
  油煙や腐食性ガスの発生場所、振動が継続する場所に置くと、故障の原因になります。

お手入れのために

- 表示面が汚れた場合は、脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭き取ってください。
- 表示面以外の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。
- 表示面に水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因となります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因となります。

廃棄について

本製品内のバックライトの中には水銀が含まれています。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てないでください。ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

バックライトについて

● 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。（約50,000時間）
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用のバックライトユニットへの交換が必要です。
※ ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。
※ バックライトは消耗品ですので、保証の対象にはなりません。

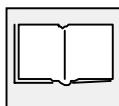
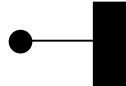
・液晶パネルは非常に高価です。有償による液晶パネルの交換は高額になることをあらかじめご了承ください。
・上記バックライトの寿命は目安です。多少異なることもございますので、あらかじめご了承ください。

そのほか

● ご使用にならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
● 表示部の周囲を押さえたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。ディスプレイ部が破損するおそれがあります。
● ディスプレイ部の表面は傷つきやすいので、工具や鉛筆、ボールペンなどの固いもので押したり、叩いたり、こすったりしないでください。
● **表示面上に滅点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります。これは、液晶パネル自体が99.99%以上の有効画素と0.01%の画素欠けや輝点をもつことによるものです。故障あるいは不良ではありません。予めご了承ください**。
● 本製品の取り付けや取り外しのときは、必ず、パソコン本体および周辺機器の電源を切ってから行ってください。
● 本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。送付先については巻末を参照してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書をお読みになる前に

ここでは、本書内で呼ばれている言葉の意味について説明しています。

呼び方	意　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating SystemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating SystemおよびMicrosoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me、Windows 98およびWindows 95の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows	Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95およびWindows 2000の総称

もくじ

はじめに

取り付けよう

Windows XPでご使用の場合

Windows Me/98/95でご使用の場合

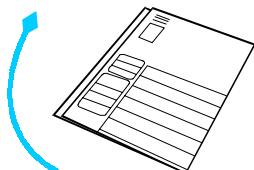
Windows 2000でご使用の場合

画像を調整するには

ふろく

はじめに

本製品の特徴をご紹介します。また、箱を開けてから作業に取り掛かるまでの準備を行ってください。

ユーザー登録をしよう

登録方法は、添付のユーザー登録カードをご覧ください。

特徴

省スペース

CRT ディスプレイに比べ、限られたスペースを有効に活用できます。

19 インチ画面

液晶ディスプレイの19 インチは、CRT ディスプレイの22 インチに相当します。SXGA（1280×1024）の解像度表示が可能です。

パワーセーブ機能を搭載

水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、省電力モードになり、消費電力を通常の約5%に抑えます。

接続が簡単

付属の接続ケーブル、および電源ケーブルを接続するだけで、すぐにご使用いただけます。

※ Power Macintoshでご使用になる場合は、別途市販の変換コネクタが必要になる場合があります。【対応機種】（5ページ）を参照してください。

VESA規格の固定器具に対応

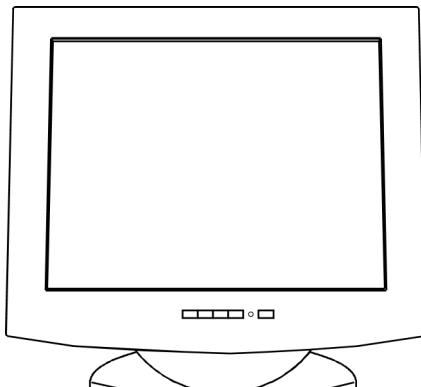
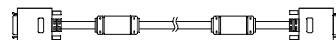
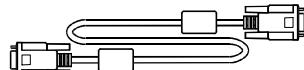
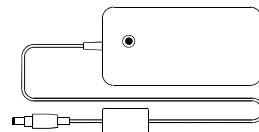
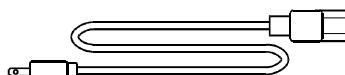
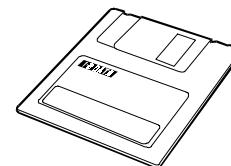
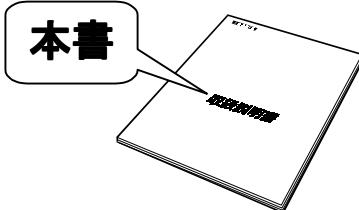
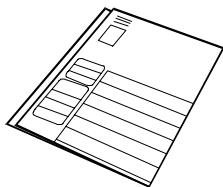
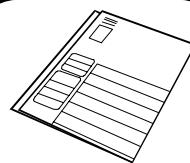
VESA規格に準拠したアームなどの固定器具に対応しています。省スペース性を最大限に生かすことができます。

※ アームなどの固定器具は別途ご用意ください。

低消費電力(最大50W、ECOモード設定時35W)

同等画面サイズのCRTディスプレイに比べ、省電力です。発熱量もはるかに少なくなっています。ECOモードを使用すれば、さらに省電力です。

※ ECOモードは、輝度を低く設定することで、消費電力を控える機能です。また、長時間の使用でも、目が疲れにくくなります。

箱の中には

万一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

注意！

箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

対応機種

● PC98-NXシリーズ

● DOS/Vマシン

弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

● NEC PC-9821シリーズ

● Power Macintosh

Power Macintosh※1でRGB接続ケーブルをお使いになる場合は、別途市販のMacintosh専用変換コネクタ※2（D-sub 15ピン(メス)⇔専用D-sub 15ピン(オス)）が必要です。

※1 Power Macintosh G3/G4は除きます。
※2 セパレートシンクで使用してください。

実行用ディスクを作ろう

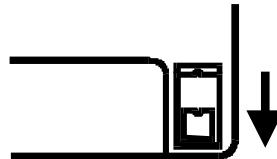
LCD-AD19Hサポートソフトは、**Windows XP/Me/98/95/2000の場合のみ必要です。**
必ずバックアップディスクを作成し、実行用ディスクとしてご使用ください。

サポートソフトを破損した場合の修理は有償です。必ず本手順を行い、LCD-AD19H サポートソフトは大切に保管してください。

以下は、フロッピーディスクドライブが A の場合の作成例です。

1 フォーマット済みの空きフロッピーディスクを用意します。

空きフロッピーディスクは「3.5 インチ 2HD：1.44M バイト」を用意します。

2 LCD-AD19H サポートソフトを書き込み禁止にします。

ディスクのコピーを行います。

[マイコンピュータ]の[3.5インチ FD]を右クリックし[ディスクのコピー]を選択します。

メッセージにしたがって、バックアップを取ります。

LCD-AD19H サポートソフトと空きフロッピーディスクをメッセージに従って入れ替えながら、バックアップを取ります。

取り付けよう

本製品の各部の名称や機能を確認し、パソコンと接続します。

・Windows XP でご使用の場合

【Windows XP でご使用の場合】（17 ページ）へお進みください。

・Windows Me/98/95 でご使用の場合

【Windows Me/98/95 でご使用の場合】（27 ページ）へお進みください。

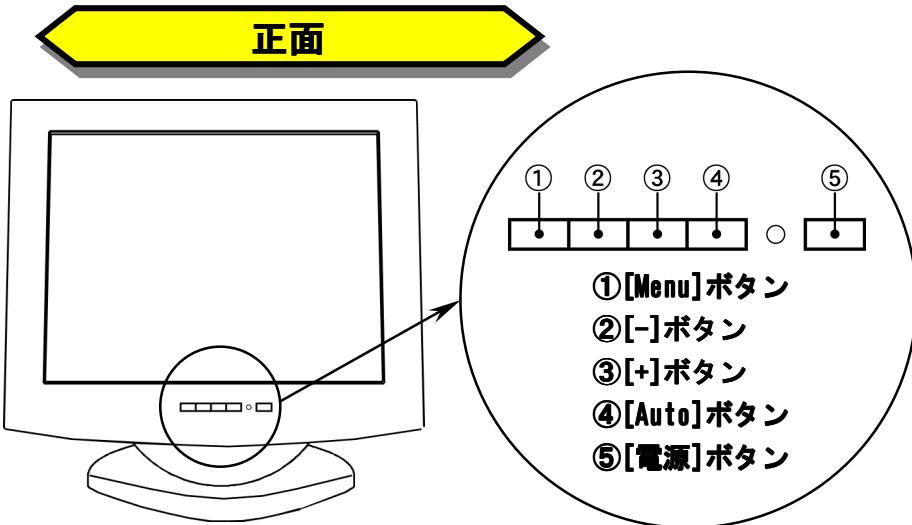
・Windows 2000 でご使用の場合

【Windows 2000 でご使用の場合】（41 ページ）へお進みください。

・上記以外をご使用の場合

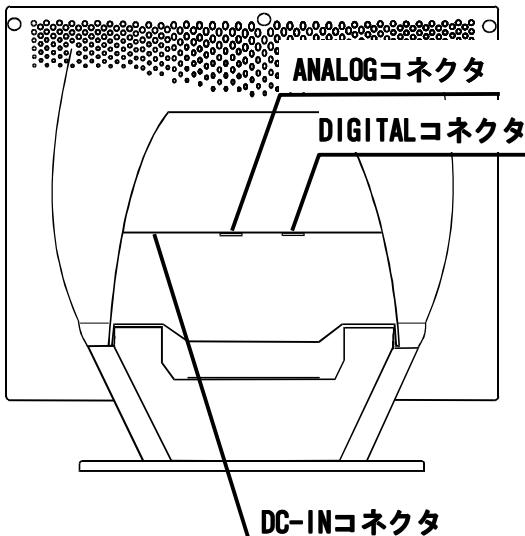
Windows NTなど、上記以外のOSをご利用の場合は、LCD-AD19Hサポートソフトのインストールは不要です。そのままご使用ください。

各部の名称と機能について

正面

ボタン	機能
Menu	画像調整メニューの表示、調整項目の選択、画像調整メニューの終了時に使います。
−	画像調整メニューの選択決定や調整値を減らすときに使います。
＋	画像調整メニューの選択決定や調整値を増やすときに使います。
Auto	画像調整を自動で行いたいときに使います。
電源	電源のON/OFFを行います。 電源がONになると左のランプが緑色に点灯します。 省電力モード時は橙色に点灯します。

※ 操作方法について、詳しくは 51 ページをご覧ください。

背面

図はカバーを外した状態です。各コネクタはカバーの下にあります。
カバーを外す際は次ページをご参照ください。

コネクタ	機能
DC-IN	付属のACアダプタを接続します。
ANALOG	パソコンのRGB出力と接続します。
DIGITAL	パソコンのデジタル出力と接続します。

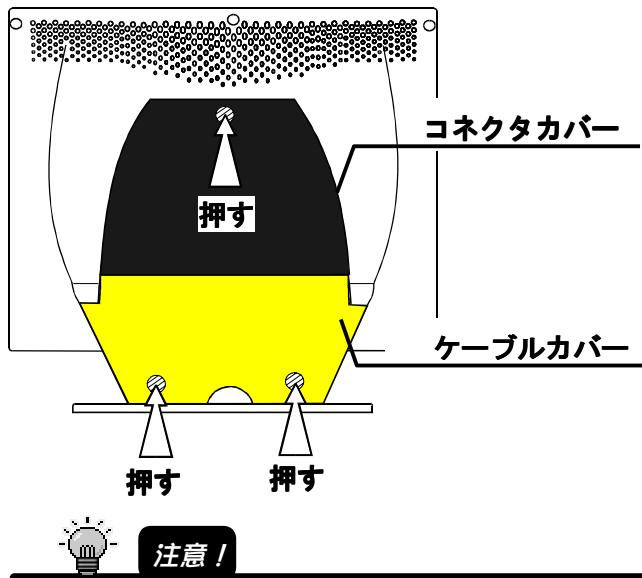
取り付けよう

カバーを外す

液晶ディスプレイ背面に、コネクタカバーとケーブルカバーの2つが上下に取り付けてあります。両方とも外し、ケーブルが接続できる状態にします。

カバーの丸くくぼんだ個所を指で押します。

カチッと音がして外れます。カバーは1枚ずつ外します。

注意！

カバーは、丸くくぼんだ個所を押すと、簡単にはずれます。床などに落として破損しないように気をつけてください。

パソコンに取り付ける

ここでは、本製品をパソコンに取り付ける手順について説明しています。
（次ページの接続図参考）

1 本製品背面のカバーを外します。

【カバーを外す】（10 ページ参照）

2 AC ケーブルと AC アダプタを接続します。

必ず添付のものをご使用ください。

3 本製品に AC アダプタのコネクタを接続します。

4 本製品に、用途にあった接続ケーブルを接続します。

アナログ接続の場合　**RGB 接続ケーブルを本製品の ANALOG コネクタに接続します。**

デジタル接続の場合　**デジタル接続ケーブルを本製品の DIGITAL コネクタに接続します。**

※ 接続ケーブルのコネクタは左右のネジできちんと締めてください。

5 接続ケーブルのもう一方をパソコンに接続します。

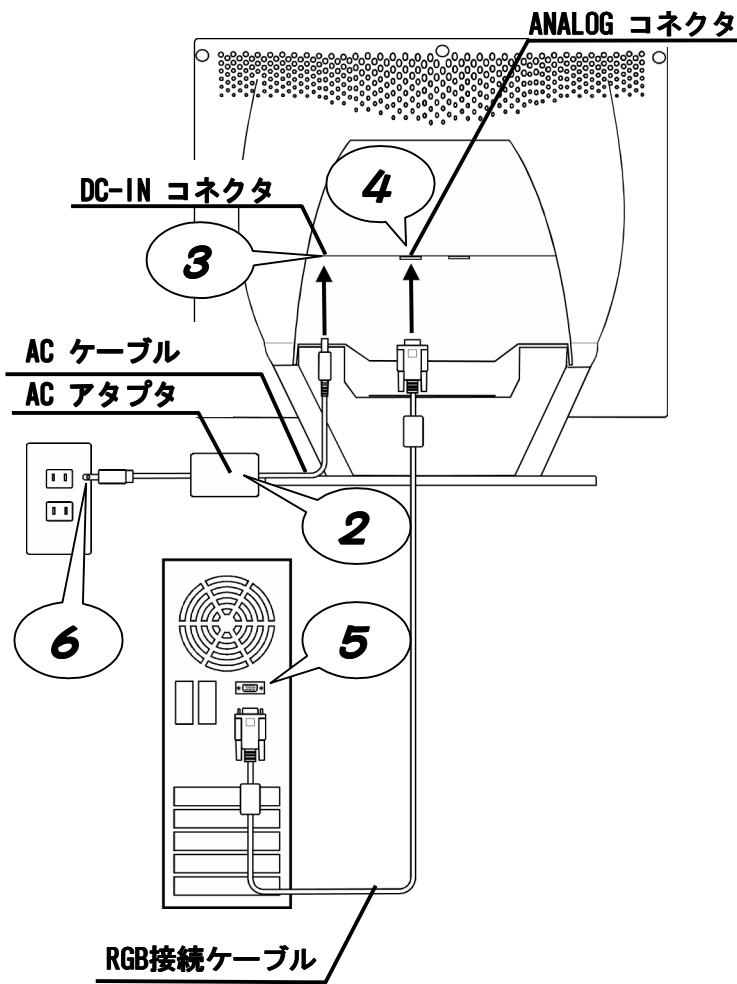
アナログ接続の場合　**パソコンの RGB 出力コネクタに接続します。**

デジタル接続の場合　**パソコンのデジタルディスプレイ出力コネクタに接続します。**

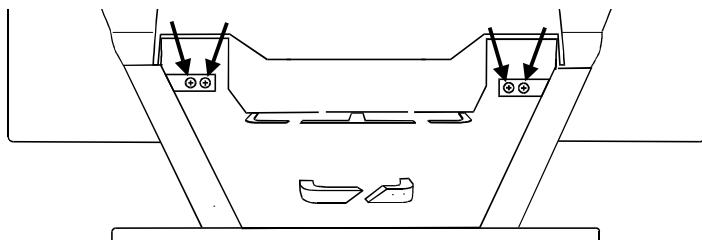
※ パソコンの出力コネクタ位置は、パソコンの取扱説明書でご確認ください。

6 ACケーブルをACコンセントに接続します。

AC アダプタの LED ランプが緑色に点灯します。

▼ アナログ接続の場合の例

固定器具を取り替える

台座部分を、VESA規格に準拠したアームや、壁掛けなどの固定器具と取り替える場合に行います。あらかじめ固定器具を用意し、ケーブル類は全て外した状態で取り替えてください。

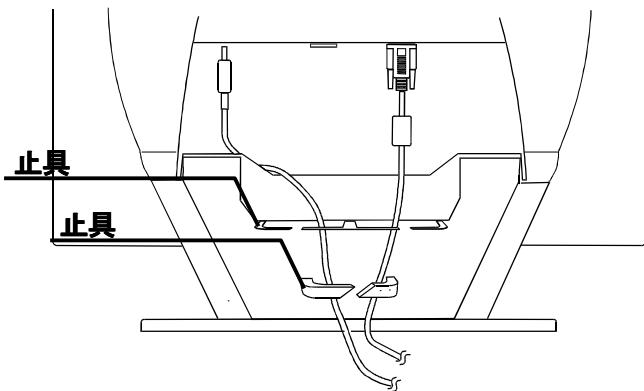
背面のボルト４個（下図参照）を外します。

ボルトを外す際、液晶ディスプレイを床等に落とさないよう十分ご注意ください。

用意した固定器具を取り付けます。

固定器具の取扱説明書をお読みいただき、正しく取り付けてください。

ケーブルの取り付けについて

各ケーブルを上下２ヵ所の止具に固定します。

止具の中を通し、ふらつかないように固定します。

2 コネクタカバーをあてて、くぼみを押します。

カチッと音がして固定されます。１枚ずつ取り付けてください。
くぼみの位置については10ページ【カバーを外す】を参照してください。

カバーを取り付ける際は、ケーブルや指を挟まないように気をつけてください。

取り付けは終了しました

取り付け終了後、Windows XP/Me/98/95/2000でご使用になる場合は、LCD-AD19Hサポートソフトのインストールをおすすめします。ご使用のOSに合わせて必要な個所をご覧ください。

- 本製品は、サポートソフトをインストールしなくてもご使用いただけます。
- サポートソフトをインストールすると、モニタに適した解像度、および周波数の設定が可能になるため、インストールをおすすめします。
- Windows NT 4.0 など、上記以外の OS ではサポートソフトをインストールする必要はありません。取り付け後はそのままお使いください。

Windows XPでご使用の場合

Windows XP にサポートソフトをインストールし、その後インストールが正常に行われたかどうかを確認します。

Windows XP にインストール

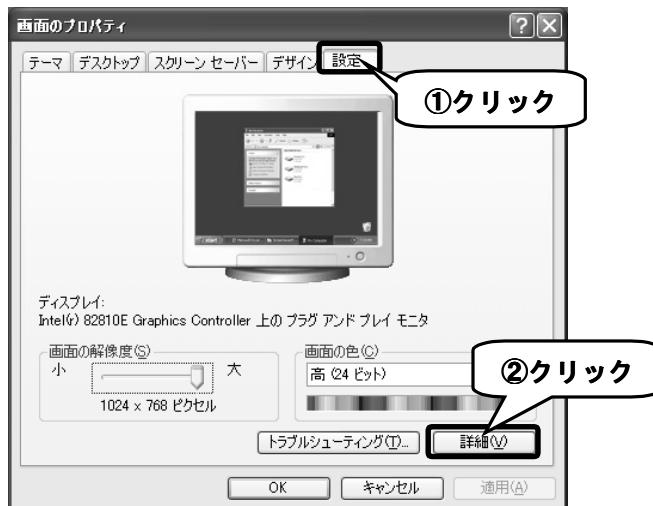
ここではLCD-AD19Hサポートソフトのインストール手順を説明します。

※ 掲載している画面は[Windows XPスタイル]に設定した場合のものです。

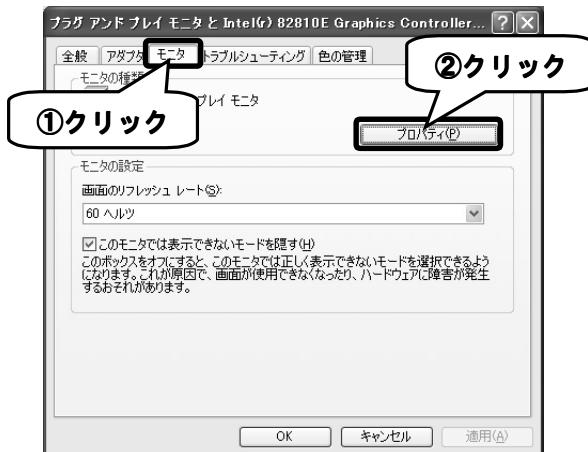
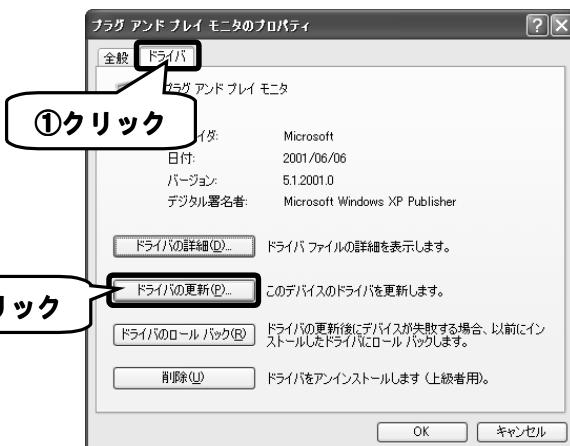
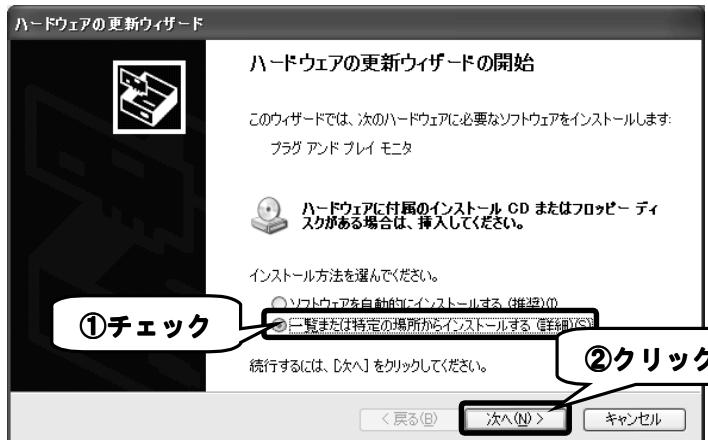
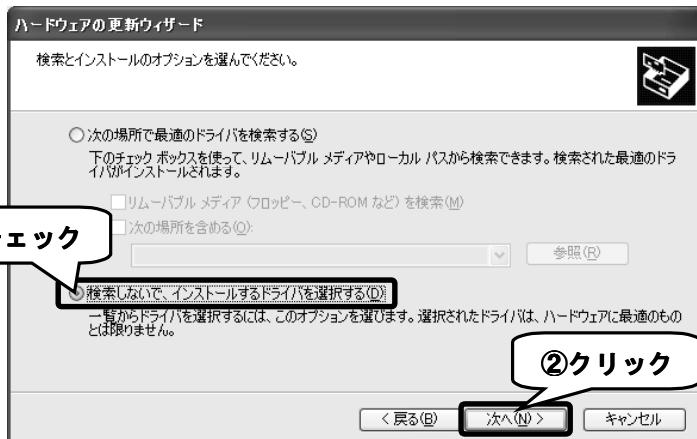
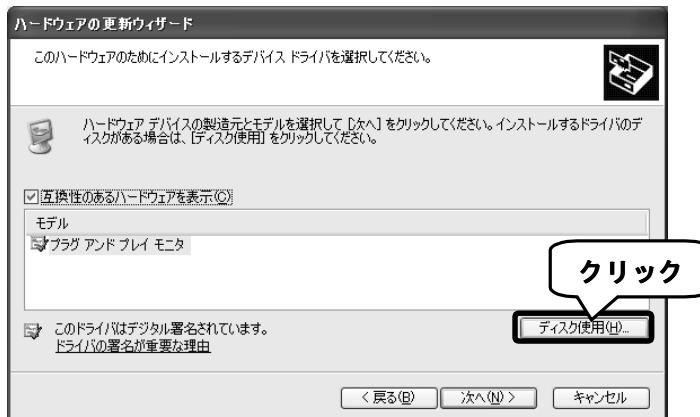
Windows XPスタイルにする

デスクトップ(壁紙)を右クリック→[プロパティ]→[デザイン]タブ→[ウィンドウとボタン]で[Windows XP スタイル]を選択します。

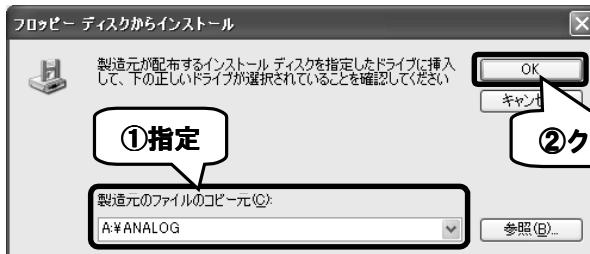
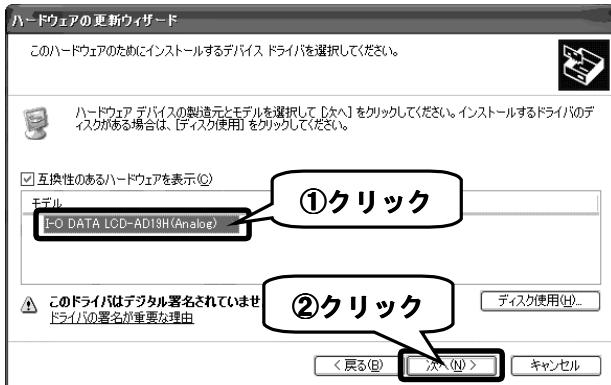
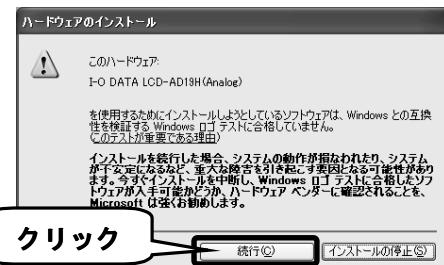
1 Windows XPを起動します。

2 デスクトップ（壁紙）上で右クリック→[プロパティ]をクリックします。

［画面のプロパティ］が起動します。

3 [設定] タブ→[詳細]ボタンをクリックします。

4 ［モニタ］タブ→［プロパティ］ボタンをクリックします。

5 ［ドライバ］タブ→［ドライバの更新］ボタンをクリックします。

[一覧または特定の場所…]をチェック→ [次へ] ボタンをクリックします。

7 [検索しないで…] をチェック→[次へ]ボタンをクリックします。

8 [ディスク使用]ボタンをクリックします。

「LCD-AD19H サポートソフト」をセットします。

10 [製造元のファイルのコピー元]でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→[OK]ボタンをクリックします。

▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

[I-O DATA LCD-AD19H…] をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。

12 以下の画面が表示される場合は、[続行]ボタンをクリックします。

参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。

→マイクロソフト社は、WHQL という組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

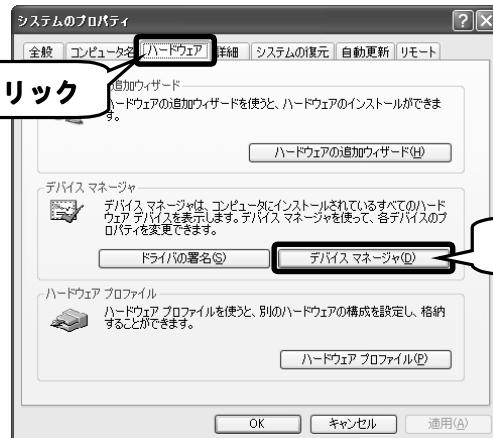
13 ［完了］ボタンをクリックします。

以上でWindows XPへのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows XP）】（次ページ）にお進みください。

インストール後の確認（Windows XP）

本製品がWindows XP上で正常に認識されているかどうかを[デバイスマネージャ]で確認します。[デバイスマネージャ]上で正しく表示されていればインストール作業は正常に完了しています。

[スタート] をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。

2 [ハードウェア]タブをクリック→ [デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。

3 [モニタ] をダブルクリックします。

本製品が正常に認識されていることを確認します。

ご使用のディスプレイ名が表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

参考

解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→[プロパティ]をクリック→［画面のプロパティ］で行ってください。

Windows Me/98/95でご使用の場合

Windows Me/98/95 にサポートソフトをインストールし、その後インストールが正常に行われたかどうかを確認します。

Windows Me/98/95 にインストール

LCD-AD19Hサポートソフトのインストール手順を説明します。
手順はご使用のOSにより異なります。該当部分のみご参照ください。

Windows Me/98の場合

※ 掲載している画面は、Windows 98のものです。

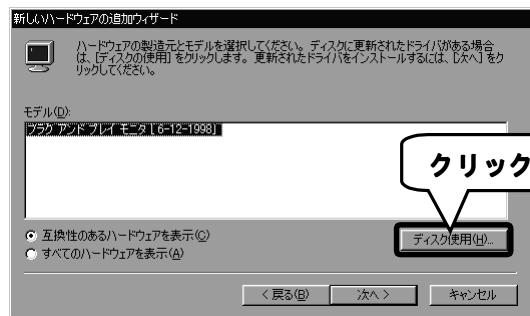
Windows を起動します。

本製品が自動的に認識されます。

［次へ］ボタンをクリックします。

Windows Me の場合は、［ドライバの場所を指定する］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。

［特定の場所にあるすべての…］をチェック→［次へ］ボタンをクリックします。

Windows Me の場合も、同様の項目をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

［ディスク使用］ボタンをクリックします。

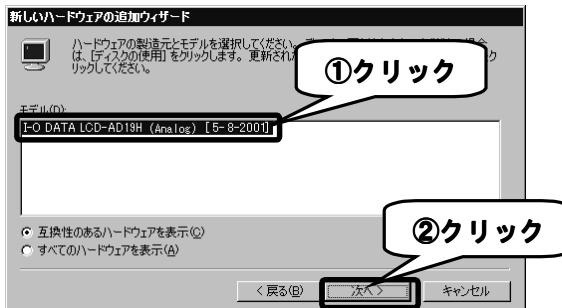
「LCD-AD19H サポートソフト」をセットします。

[配布ファイルのコピー元] でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→ [OK] ボタンをクリックします。

▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

アナログ接続の場合	A:¥ANALOG
デジタル接続の場合	A:¥DIGITAL

PC-9821 シリーズの場合は、[参照]ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブ名を指定してから、[OK]ボタンをクリックしてください。

7 [I-O DATA LCD-AD19H…] をクリック→ [次へ] ボタンをクリックします。

[次へ]ボタンをクリックします。

[完了]ボタンをクリックします。

以上でWindows Me/98へのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認(Windows Me/98/95)】(39ページ)にお進みください。

Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合

1 **Windows 95を起動します。**

2 **デスクトップ（壁紙）を右クリック→［プロパティ］をクリックします。**

［画面のプロパティ］が起動します。

3 **［ディスプレイの詳細］タブ→［ディスプレイの変更］ボタンをクリックします。**

4 **［ディスプレイの種類］の［変更］ボタンをクリックします。**

[ディスク使用] ボタンをクリックします。

「LCD-AD19H サポートソフト」をセットします。

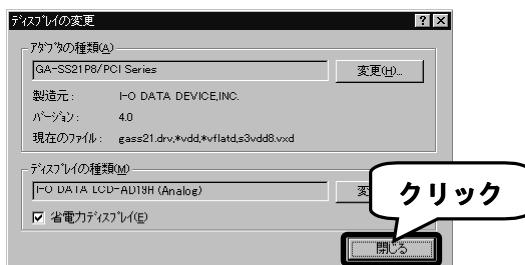
[配布ファイルのコピー元] でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→ [OK] ボタンをクリックします。

▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

アナログ接続の場合	**A:¥ANALOG**
デジタル接続の場合	**A:¥DIGITAL**

PC-9821 シリーズの場合は、[参照]ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブ名を指定してから、[OK]ボタンをクリックしてください。

8 [I-O DATA LCD-AD19H…] をクリック→ [OK] ボタンをクリックします。

9 [閉じる] ボタンをクリックします。

10 あとは画面の指示に従い、[OK] ボタンをクリックします。

以上でWindows 95 4.00.950/4.00.950aへのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows Me/98/95）】（39ページ）にお進みください。

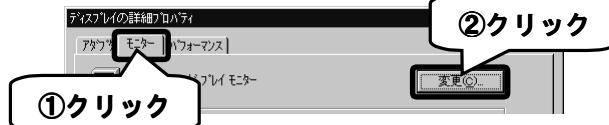
Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合

1 **Windows 95を起動します。**

2 **デスクトップ（壁紙）を右クリック→［プロパティ］をクリックします。**

［画面のプロパティ］が起動します。

3 **［ディスプレイの詳細］タブ→［詳細プロパティ］ボタンをクリックします。**

4 **［モニター］タブ→［変更］ボタンをクリックします。**

［ディスク使用］ボタンをクリックします。

「LCD-AD19H サポートソフト」をセットします。

［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→［OK］ボタンをクリックします。

▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

アナログ接続の場合	**A:¥ANALOG**
デジタル接続の場合	**A:¥DIGITAL**

PC-9821 シリーズの場合は、［参照］ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブ名を指定してから、［OK］ボタンをクリックしてください。

［I-O DATA LCD-AD19H…］をクリック→［OK］ボタンをクリックします。

あとは画面の指示に従い、［OK］ボタンをクリックします。

以上でWindows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cへのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows Me/98/95）】（次ページ）にお進みください。

インストール後の確認（Windows Me/98/95）

本製品がWindows Me/98/95上で正常に認識されているかどうかを[デバイスマネージャ]で確認します。[デバイスマネージャ]上で正しく表示されていればインストール作業は正常に完了しています。

1 **［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］をクリックします。**

［システムのプロパティ］が起動します。

2 **［デバイスマネージャ］タブをクリック→［種類別に表示］をチェックします。**

PC98-NXシリーズで「デバイスマネージャ」タブが表示されない

1 **［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］または［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXセットアップ］を選択します。**

2 **［アドバンスモード］をチェックし、Windowsを再起動します。**

3 **再度手順の 1 から行います。**

3 ［モニタ］をダブルクリックします。

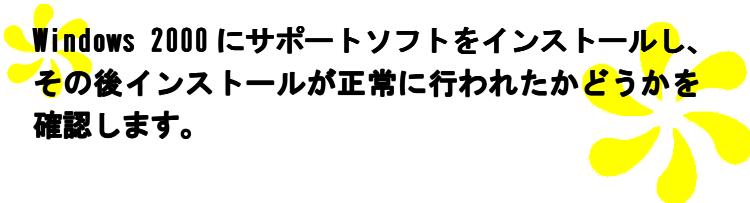
4 本製品が正常に認識されていることを確認します。

［I-O DATA LCD-AD19H…］と表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→［プロパティ］をクリック→［画面のプロパティ］で行ってください。

Windows 2000でご使用の場合

Windows 2000 にサポートソフトをインストールし、その後インストールが正常に行われたかどうかを確認します。

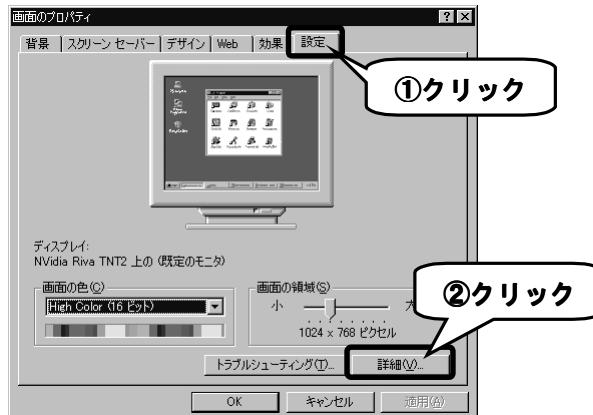
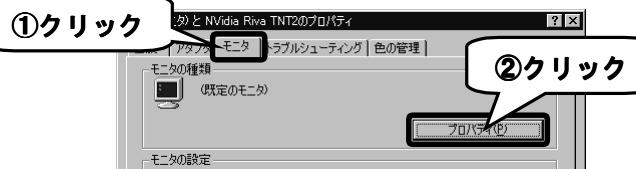
Windows 2000 にインストール

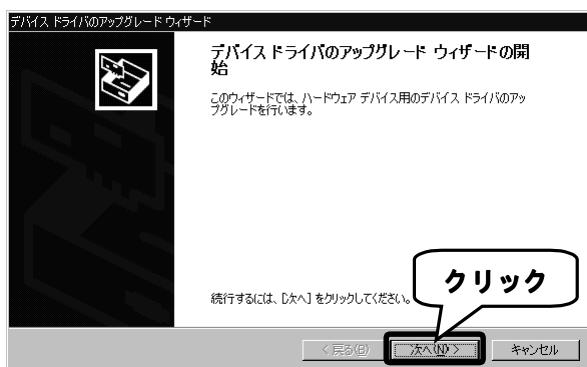
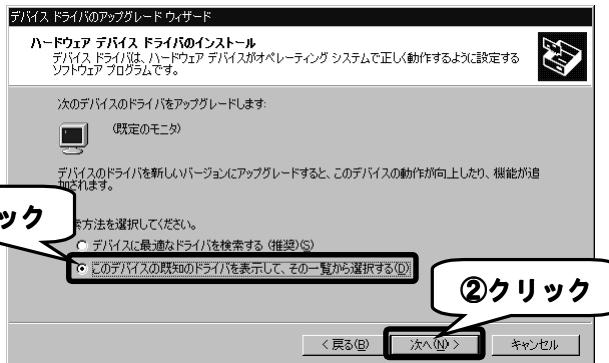
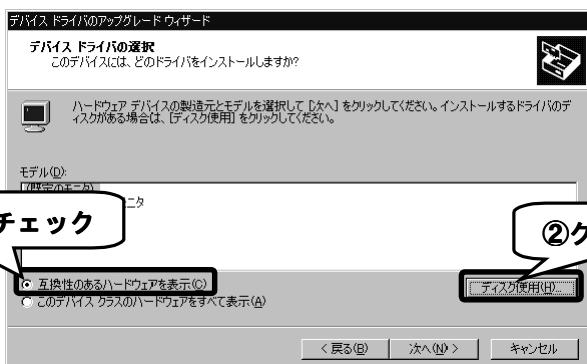
ここではLCD-AD19Hサポートソフトのインストール手順を説明します。

1 **Windows 2000を起動します。**

2 **デスクトップ（壁紙）上で右クリック→[プロパティ]をクリックします。**

［画面のプロパティ］が起動します。

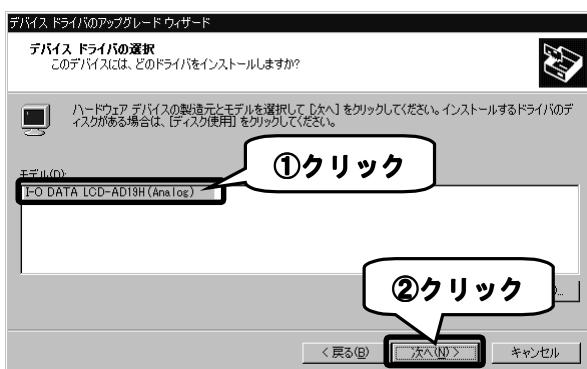
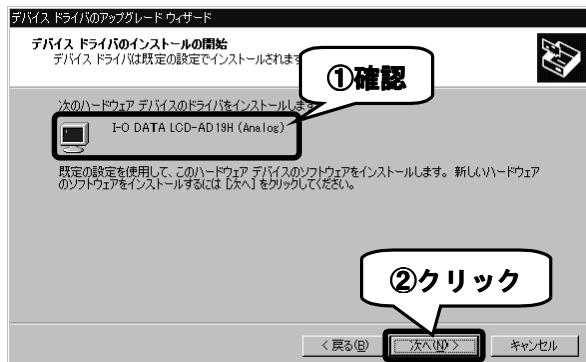
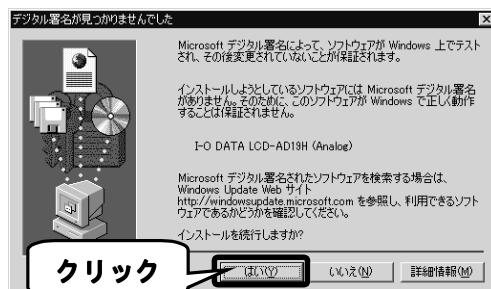
3 **[設定] タブ→[詳細]ボタンをクリックします。**

4 **[モニタ] タブ→[プロパティ]ボタンをクリックします。**

5 ［ドライバ］タブ→［ドライバの更新］ボタンをクリックします。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

7 [このデバイスの…]をチェック→[次へ]ボタンをクリックします。

8 [互換性のある…]をチェック→[ディスク使用]ボタンをクリックします。

9 「LCD-AD19H サポートソフト」をセットします。

10 [製造元のファイルのコピー元] でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→ [OK] ボタンをクリックします。

▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

アナログ接続の場合	A:¥ANALOG
デジタル接続の場合	A:¥DIGITAL

11 [I-O DATA LCD-AD19H…] をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。

モニタの種類を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

以下の画面が表示される場合は、[はい]ボタンをクリックします。

参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。
→マイクロソフト社は、WHQL という組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

［完了］ボタンをクリックします。

［閉じる］ボタンをクリックします。

手順 4 の画面に戻るので、[閉じる]ボタンをクリックし、さらに[画面のプロパティ]の[OK]ボタンをクリックします。

以上でWindows 2000へのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows 2000）】（次ページ）にお進みください。

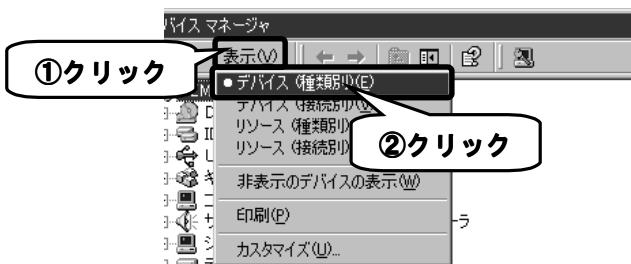
インストール後の確認（Windows 2000）

本製品がWindows 2000上で正常に認識されているかどうかを[デバイスマネージャ]で確認します。[デバイスマネージャ]上で正しく表示されていればインストール作業は正常に完了しています。

1 ［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］をクリックします。

［システムのプロパティ］が起動します。

2 ［ハードウェア］タブ→［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

3 ［表示］→［デバイス（種類別）］をクリックします。

4 ［モニタ］をダブルクリックします。

本製品が正常に認識されていることを確認します。

［I-O DATA LCD-AD19H…］と表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→［プロパティ］をクリック→［画面のプロパティ］で行ってください。

画像を調整するには

画像の調整について説明します。この操作はパソコンやOSにかかわらず同じです。

参考

本製品は、工場出荷時に適正値に設定されておりますので、特に必要でない限り、画像を調整する必要はありません。

調整できる項目は

画面に表示されるOSD（On Screen Display）メニューでは、以下のような調整等ができます。詳細については各ページを参照してください。

ワンタッチでできる調整

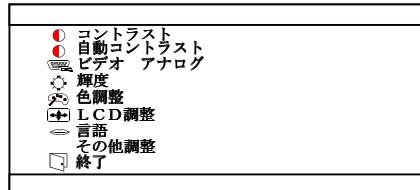
正面の「AUTO」ボタン、「＋」ボタンおよび「－」ボタンを１回押すだけで、自動的に調整します。

ボタン	機能
AUTO （アナログ時のみ有効）	画像の位置とサイズを自動的に調整します。 画面に[自動調整処理中]と表示され、自動調整を始めます。しばらくして調整が終わったら、元の画面に戻ります。
＋ （アナログ/デジタル時有効）	コントラストを自動的に調整します。画面に[自動コントラスト処理中]と表示され、自動調整を始めます。しばらくして調整が終わったら、元の画面に戻ります。
－ （アナログ/デジタル時有効）	表示する画像のスムージング調整ができます。押すたびにスムージングの度合いが10,9,8…と10段階で変化し、１段階までくると、次は10段階に戻ります(OSD表示はありません。) 10段階→9→…2→1段階→10段階 ※ 1280×1024未満の解像度で有効です。

メニューでのボタン操作

OSD メニューで画像の調整を行う場合は、正面のボタンを使います。

「MENU」ボタンを押します。

画面にメインメニューが表示されます。

2

「+」、「−」ボタンで調整したい項目に緑色の選択部分を合わせます。

3

「MENU」ボタンを押します。

4

「+」、「−」ボタンを押して、値を変更します。

設定中は、設定内容がリアルタイムに反映されます。

5

[MENU]ボタンを押します。

6 「+」、「-」ボタンで[終了]もしくは[メインメニュー]を選択します。

7 [MENU]ボタンを押します。

8 OSD表示が消えない場合は、手順 6 へ戻ります。

メニューを表示したまま約 30 秒以上操作しなかった場合、メニューは自動的に終了します。

メニューでできる調整

メインメニュー

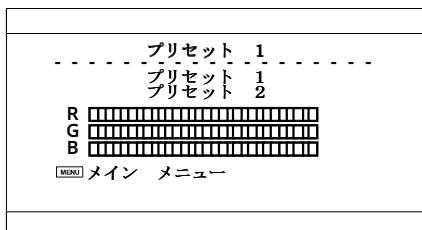
メインメニューで設定できる項目は以下の通りです。

コントラスト
自動コントラスト
ビデオ　アナログ
輝度
色調整
ＬＣＤ調整
言語
その他調整
終了

項目	方法
コントラストの調整	[コントラスト]を選択してから「MENU」ボタンを押し、「＋」ボタンまたは「－」ボタンを押して、調整します。
コントラストの自動調整	[自動コントラスト]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、自動調整を開始します。
アナログ/デジタル入力切替	[ビデオ　アナログ]（もしくは[ビデオ　デジタル]）を選択してから「MENU」ボタンを押します。アナログ入力とデジタル入力の両方を接続している場合に、表示する方を選択します。
輝度の調整	[輝度]を選択してから「MENU」ボタンを押し、「＋」ボタンまたは「－」ボタンを押して、調整します。
色調整	[色調整]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、色調整のサブメニューを表示します。（次ページ【色調整メニュー】参照）

項目	方法
LCD 調整	[LCD調整]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、LCD調整のサブメニューを表示します。 （59ページ【LCD調整メニュー】参照）
メニュー言語の選択	[言語]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、言語サブメニューが表示されます。変更したい言語を選択してください。 （60ページ【言語選択メニュー】参照）
その他調整	[その他調整]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、その他調整のサブメニューを表示します。 （61ページ【その他調整メニュー】参照）
メニュー終了	[終了]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、設定値を保存し、メインメニューを終了します。「MENU」ボタンを2秒以上長押しした場合と同じです。

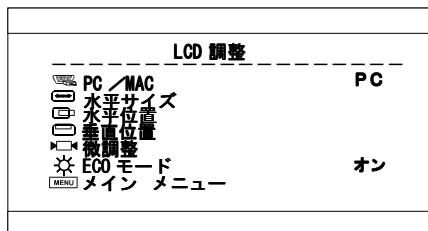
色調整メニュー

色調整メニューはメインメニューの[色調整]を選択して、「MENU」ボタンを押すと表示されます。

メニューでできる調整

色調整では、あらかじめ調整済みの色パターンが２通り設定されています。その他に、R（赤）、G（緑）、B（青）の割合を自由に設定して、新しい色パターンを作成することができます。一番上の行に表示されているのが、現在選択中の色パターン名です。設定できる項目は以下の通りです。

項目	方法
プリセット１設定	明るめの設定 [プリセット 1]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、この色パターンで表示を行います。
プリセット2設定	やや暗めの設定 [プリセット 2]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、この色パターンで表示を行います。
R(赤色)調整	[R]を選択してから「MENU」ボタンを押し（赤色反転します。）「＋」ボタンまたは「ー」ボタンを押して、値を調整します。 １番上の行には[ユーザー]と表示されます。
G(緑色)調整	[G]を選択してから「MENU」ボタンを押し（赤色反転します。）「＋」ボタンまたは「ー」ボタンを押して、値を調整します。 １番上の行には[ユーザー]と表示されます。
B(青色)調整	[B]を選択してから「MENU」ボタンを押し（赤色反転します。）「＋」ボタンまたは「ー」ボタンを押して、値を調整します。 １番上の行には[ユーザー]と表示されます。
メインメニューへ戻る	[メインメニュー]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、メインメニューへ戻ります。

LCD調整メニュー

LCD調整メニューはメインメニューの[LCD調整]を選択して、「MENU」ボタンを押すと表示されます。設定できる項目は、以下の通りです。
※デジタル接続時に設定できる項目は、ECOモードのみです。

項目	方法
パソコン設定	[PC/MAC]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、[PC]と[MAC]が切り替わります。 以下の表示モードの場合のみ[MAC]を選択してください。それ以外は[PC]を選択してください。 ● **Power Macintosh専用解像度**
画像のサイズ調整	[水平サイズ]を選択してから「MENU」ボタンを押し、「＋」ボタンまたは「－」ボタンを押して、値を調整します。

● Power Macintosh専用解像度

表示モード	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
640×480	35.0	66.7
832×624	49.7	74.5
1024×768	60.2	74.9

参考

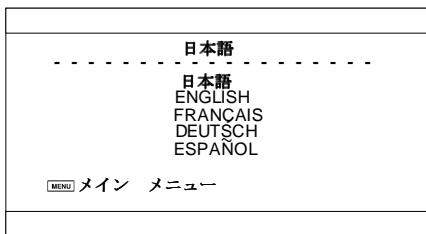
[パソコン設定]は、解像度を800×600に設定したPC-9821シリーズ、DOS/Vマシン、もしくはPC98-NXシリーズと、832×624に設定したPower Macintoshで、双方のリフレッシュレートが同じだった場合に、液晶ディスプレイが混同し、誤認識してしまうことを防ぐために設けられています。

項目	方法
画像の水平位置調整	[水平位置]を選択してから「MENU」ボタンを押し、「+」ボタンまたは「−」ボタンを押して、値を調整します。
画像の垂直位置調整	[垂直位置]を選択してから「MENU」ボタンを押し、「+」ボタンまたは「−」ボタンを押して、値を調整します。
焦点の鮮明化（微調整）	[微調整]を選択してから「MENU」ボタンを押し、「+」ボタンまたは「−」ボタンを押して、値を調整します。
ECO モード	[ECOモード]を選択してから「MENU」ボタンを押し、オン/オフを切り替えます。オンにすると輝度が低くなり、消費電力を抑えることができます。
メインメニューへ戻る	[メインメニュー]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、メインメニューへ戻ります。

言語選択メニュー

言語選択メニューはメインメニューの[言語]を選択して、「MENU」ボタンを押すと表示されます。次ページの言語に設定できます。

日本語

日本語
ENGLISH
FRANÇAIS
DEUTSCH
ESPAÑOL

MENU メイン　メニュー

項目	方法
日本語	[日本語]を選択してから「MENU」ボタンを押します。
英語	[ENGLISH]を選択してから「MENU」ボタンを押します。
フランス語	[FRANÇAIS]を選択してから「MENU」ボタンを押します。
ドイツ語	[DEUTSCH]を選択してから「MENU」ボタンを押します。
スペイン語	[ESPAÑOL]を選択してから「MENU」ボタンを押します。
メインメニューへ戻る	[メインメニュー]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、メインメニューへ戻ります。

その他調整メニュー

その他調整メニューはメインメニューの[その他調整]を選択して、「MENU」ボタンを押すと表示されます。設定できる項目は、次ページの通りです。

その他調整
OSD 水平位置
OSD 垂直位置
スムージング
背景　オン
入力周波数
リコール
MENU メイン　メニュー

項目	方法
OSDメニューの水平位置調整	[OSD水平位置]を選択してから「MENU」ボタンを押し、「+」ボタンまたは「−」ボタンを押して、値を調整します。
OSDメニューの垂直位置調整	[OSD垂直位置]を選択してから「MENU」ボタンを押し、「+」ボタンまたは「−」ボタンを押して、値を調整します。
画像のスムージング	[スムージング]を選択してから「MENU」ボタンを押し、「+」ボタンまたは「−」ボタンを押して、スムージングの度合いを調整します。 押すたびにスムージングの度合いが10,9,8…と10段階で変化し、1段階までくると、次は10段階に戻ります。(OSD表示はありません。) 10段階→9→…2→1段階→10段階 ※ 1280×1024未満の解像度で有効です。
メニュー背景色の表示切替	[背景]を選択した状態で、「MENU」ボタンを押します。押す毎に背景表示のオン/オフを切り替えます。
入力信号情報の表示	[入力周波数]を選択してから「MENU」ボタンを押します。解像度・水平・垂直周波数などを表示します。
設定のリセット	[リコール]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、各設定を工場出荷時の状態に戻します。 ※ [LCD調整([ECO モード]は除く)]、[言語]および[色調整]で新しく作成した色の各設定内容は出荷時設定に戻りません。
メインメニューへ戻る	[メインメニュー]を選択してから「MENU」ボタンを押すと、メインメニューへ戻ります。

ふろく

困った時には

以下のチャートに従ってトラブルを解決します。

Q１
画面が小さい。もしくはゆがんでいる。
各ケーブルの接続を確認してください。
そのままご使用ください。
次の症状に該当する。
・表示色がおかしい
・線が入る
・明るくなったり暗くなったりする
・時間がたつとおかしくなる
サポートセンターへご相談ください。
文字等がにじむ。
66ページ【対処１】を試してください。
そのままご使用ください。
「許容範囲外」と表示される。
67ページ【対処２】を試してください。
サポートセンターへご相談ください。
色数/解像度が変更できない。
ご利用のグラフィック（ビデオ）カードの動作に問題が生じていると考えられます。グラフィック（ビデオ）カードのドライバを再インストールしてください。解消されない場合は、パソコン本体、もしくは各グラフィックカードのメーカへもお問い合わせください。
サポートセンターへご相談ください。

対処1

ディスプレイの「AUTO」ボタンを押して自動調整を行なってみてください。（53 ページ）
それでも改善されないようであれば、手動で画像の幅、位置、スムージングの調整をお試しください。（59、62 ページ）

● 対処2

本製品の仕様外の解像度やリフレッシュレート（垂直周波数）を設定された為と思われます。以下の方法にて設定を変更してください。

※ Windows NT 4.0の場合は、起動時に「VGA MODE」を選択し、3からの操作を行ってください。

Windows 起動ロゴが表示される前あたりで、キーボードの[F8]キーを断続的に何回か押します。
押し続けないでください。

起動メニューが表示しますので、[3.SafeMode]を選択します。（Windows XP は[セーフモード]→[Microsoft Windows XP Professional]を選択します。）

Safeモードでwindowsが起動しますので、デスクトップ（壁紙）部分で右クリックし[プロパティ]をクリックします。[画面のプロパティ]が起動しますので、[設定]タブをクリックし、（Windows 95は、[詳細]タブ）解像度を640×480もしくは800×600に指定します。
変更できない状態なら、そのまま[OK]ボタンをクリックします。

Windows を再起動します。

再起動後、再度画面のプロパティより、画面の解像度を変更しますが、必ず 1280×1024 以下に設定してください。また、変更時には必ず[適用]ボタンをクリックしてください。（万が一対応外の解像度が選択された場合でも、「ESC」キーを押せば元の解像度に復帰できます。）

注意！

本製品の仕様外の解像度を設定すると、「何も表示されない」、「[スムージング]が効かない」など、正しく表示されない場合があります。（75 ページ【対応信号タイミング】参照）

用語解説

DPMS(Display Power Management Signaling)

VESA（Video Electronics Standards Association）が策定した、ディスプレイの節電機構をパソコン本体側から制御するための規格。省電力機能は、ディスプレイのHSYNC/VSYNC（水平/垂直走査周波数）を制御することで「オン」、「スタンバイ」、「サスペンド」、「オフ」の４つの節電レベルを可能とします。

OSD(On Screen Display)

ディスプレイの一部に設定値を表示しながら、設定が可能なディスプレイの機能。本製品では、OSDを使っていろいろな調整を行うことができます。

TFT(Thin Film Transfer liquid crystal)

アクティブ・マトリックス型液晶の一種。
液晶画面の各ドットは、薄膜トランジスタ(TFT)で制御します。現状、他の液晶技術（STN,DSTNなど）に比べ、品質面では最も優れています。

走査線周波数

ディスプレイはドットの集まりです。ディスプレイは左上から右下に向かって電子ビームで必要なドットを光らせて画像を表示しています。「走査する」とは、電子ビームが動く、つまり画像が表示されるという意味です。
走査周波数とは、ちょうど電子ビームの動く速さを示す「メトロノーム」のようなもので、走査周波数が高いほど電子ビームが速く動く、つまり画像表示が速いということになります。走査周波数を低くすると画面のチラツキが目立つようになります。逆に走査周波数を高くすると画面のチラツキは目立たなくなります。

ドット

文字や図形を表現する基本単位となる点のこと。ピクセルとも呼ばれます。
パソコンで扱う文字や図形は、このドットの集まりで表現されます。

ドット抜け

TFTパネルなど平面パネルでは、非常に高度な技術を使用していますが、生産過程の諸条件により液晶格子の一部が上手く形成されない場合があります。
現在の技術は99.99%以上の精度で液晶格子が形成されています。すべて完全な液晶格子を形成することは現在の技術水準でも難しいのが現状です。

省電力モードについて

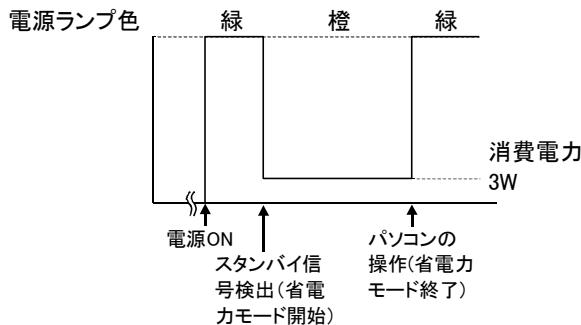
省電力モードを働かせるには、パソコン側での設定が必要です。
本製品側では、特に設定はありません。
キーボードやマウスの操作をすると省電力モードから復帰します。

・パソコンの設定

省電力モードを働かせるためには、お使いのパソコンにあった設定を行ってください。具体的な設定方法については、パソコンなどの取扱説明書をご覧ください。

なお、省電力モードを働かせるためには、グラフィックアクセラレータボードがVESA DPMS規格に対応している必要があります。

・VESA DPMS対応のディスプレイ省電力の流れ

グラフィックボードから出力される「オン」、「スタンバイ」、「サスペンド」、「オフ」の４種類の信号の変化をディスプレイが検出して、省電力モードに入ったり、復帰したりします。

※ 本製品では「スタンバイ」、「サスペンド」、「オフ」のうちいずれの信号を認知した場合でも省電力モードに入ります。

● 省電力モードとは・・・

一定時間パソコンを操作しなかった場合に、自動的にディスプレイの消費電力を抑える機能のことです。省電力モード時は画面は真暗になります。

● 国際エネルギースタープログラム

コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意の制度となっており、対象製品およびそれぞれの基準、ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

energy

省電力設定について

省電力の設定方法です。ご参考ください。（詳細については、各Windowsの取扱説明書をご覧ください。）

● Windows XPでの設定方法

1. デスクトップ（壁紙）上で右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。
2. [スクリーンセーバー]タブ→[電源]ボタンの順にクリックします。
3. [電源設定]タブの[モニタの電源を切る]で省電力になるまでの時間を設定します。

● Windows Me/98/95での設定方法

1. デスクトップ（壁紙）上で右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。
2. Windows Me/98の場合

   ［設定］タブ→［詳細］ボタン→［モニタ］タブの順にクリックします。

   Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合

   ［ディスプレイの詳細］タブ→［ディスプレイの変更］ボタンの順にクリックします。

   Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 C の場合

   ［ディスプレイの詳細］タブ→［詳細プロパティ］ボタン→［モニター］タブの順にクリックします。
3. [省電力モニタ]にチェックがない場合はチェックします。
4. [OK]ボタンをクリックします。
5. [スクリーンセーバー]タブをクリックします。
6. [ディスプレイの省電力機能]を設定します。
7. [OK]ボタンをクリックします。

● Windows 2000 での設定方法

1. [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[電源オプション]を開きます。
2. [電源設定]タブを開きます。
3. [モニタの電源を切る]で省電力になるまでの時間を設定します。

ハードウェア仕様

■ 液晶ディスプレイ仕様

パネルタイプ	TFT 19インチ
表示面積(mm)	376.3×301.1
最大表示解像度	1280×1024
画素ピッチ(mm)	0.294×0.294
表示色	1677万色
視野角度	上：85° 下：85° 右：85° 左：85°
チルト角	上： 20° 下：5°
スイベル角	右：45° 左：45°
最大輝度	250cd/m² (Typ) ※1
コントラスト	500:1 (Typ) ※1
応答速度	25ms (Typ) ※1
入力映像信号	アナログRGB、デジタルDVI-D
外形寸法 (W×D×H)	450×245×455(mm)
質量(台座取り外し時)	9.1(6.3)kg
使用温度条件	動作時：0℃～+40℃ 収納時：-20℃～+60℃
使用湿度条件	20%～80%(結露なきこと)
定格電圧	DC12V
消費電力	最大：50 W ECOモード時：35W サスペンド時：3W
パワーマネージメント	VESA DPMS互換
バックライト寿命	50,000時間 (Typ) ※1
VESAマウントインターフェイス規格対応	○ (100mmピッチ)
盗難防止用ホール	○

※1：Typ：Typical（使用中の標準的な数値）

TFT カラー液晶パネルは特性として表示面上に滅点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります。これは故障あるいは不良ではありません。予めご了承ください。

■ ACアダプタ仕様

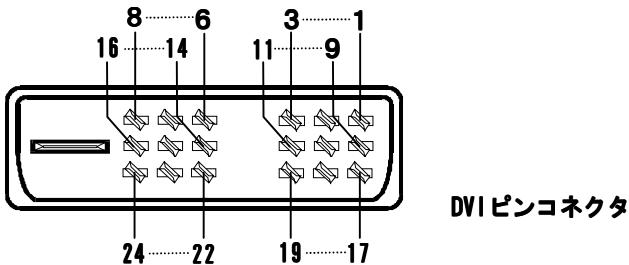
入力	AC100V（50/60Hz）　　120VA
出力	DC12V±5%　　5.0A（max）

■ 対応信号タイミング

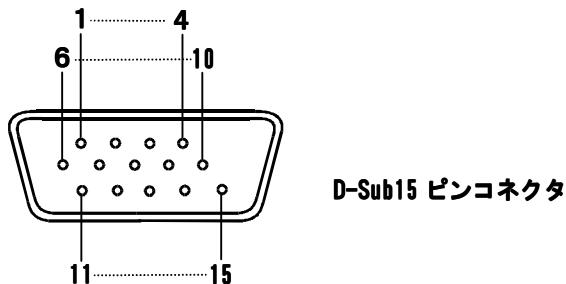
		表示モード	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）	アナログ	デジタル
	Windows	720×400	31.5	70.1	○	○
		640×400	31.3	70.0	○	○
Power Macintoshシリーズ		640×480	31.5	59.9	○	○
			37.9	72.8	○	○
			37.5	75.0	○	○
		800×600	35.2	56.3	○	○
			37.9	60.3	○	○
			46.9	75.0	○	○
			48.1	72.2	○	○
		1024×768	48.4	60.0	○	○
			56.5	70.1	○	○
			58.0	71.9	○	○
			60.0	75.0	○	○
		1280×1024	64.0	60.0	○	○
			80.0	75.0	○	－
		640×480	35.0	66.7	○	－
		832×624	49.7	74.5	○	－
		1024×768	60.2	74.9	○	－

注意！

- **パソコンからの信号は全てノンインタレースであること。**
- **Power Macintoshシリーズでご使用の場合は、別途市販のMacintosh用接続変換コネクタが必要になる場合があります。**
- **表示解像度、表示色数は接続するグラフィックボードによって異なります。**
- **1280×1024未満の解像度の場合は、拡大表示します。**
- **コンポジットシンクおよびシンクオングリーンには対応しておりません。**
- **表示モード720×400と640×400の周波数はほぼ同じため、640×400の解像度で表示していても、OSD表示では「720×400」と表示される場合があります。ただし、動作上の問題はありません。**
- **デジタル接続の場合、パソコンやグラフィックボードによっては、正常に表示されない場合があります。**

■ デジタルコネクタ形状・ピンアサイン（ケーブル側）

ピン番号	内容
1	TMDSデータ2-
2	TMDSデータ2+
3	TMDSデータ2シールド
4	未結線
5	未結線
6	DDCクロック
7	DDCデータ
8	未結線
9	TMDSデータ1-
10	TMDSデータ1+
11	TMDSデータ1シールド
12	未結線

ピン番号	内容
13	未結線
14	+5Vパワー
15	GND
16	ホットプラグ検知
17	TMDSデータ0-
18	TMDSデータ0+
19	TMDSデータ0シールド
20	未結線
21	未結線
22	TMDSクロックシールド
23	TMDSクロック+
24	TMDSクロック-

■ アナログコネクタ形状・ピンアサイン（ケーブル側）

ピン番号	内容
1	赤映像信号入力
2	緑映像信号入力
3	青映像信号入力
4	GND
5	未結線
6	赤映像信号用GND
7	緑映像信号用GND
8	青映像信号用GND
9	DDC +5V
10	同期信号用GND
11	未結線
12	DDCシリアルデータ
13	水平同期信号用入力
14	垂直同期信号用入力
15	DDCシリアルクロック

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号および FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用の LCD-AD19H サポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョンおよびメーカー名。
6. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.jp/support/

■郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「LCD-AD19H」係　宛

■電話

電話番号	**本社**	**076-260-3646**
	東京	**03-3254-1036**
受け付け時間	**9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)**	

■FAX

FAX番号	**本社076-260-3360**
	東京03-3254-9055
宛先	**株式会社アイ・オー・データ機器**
	サポートセンター「LCD-AD19H」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

保証について

■保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失および破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　　http://www.iodata.jp/lib/　→「サポート・ライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料および手数料はお客様負担）

住所　　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「LCD-AD19H」サービス窓口　宛
電話番号　　076-260-3663
受付時間　　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいますようお願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「LCD-AD19H」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･ 梱包材を使用してください。また、紛失などのトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

受付窓口　「LCD-AD19H」 サービス窓口
電話番号　金沢 076-260-3663
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。